

海洋高校合格体験記 No.6

独立行政法人

水産大学校水産流通経営学科合格

3年 谷口 愛さん（宮津市立養老中学校卒業）

私は、水産大学校水産流通経営学科の合格通知書をいただくことができました。この合格は家族や友達、部活動の仲間、そして多くの先生方の支えがあったからこそ手にすることができました。本当にありがとうございました。



私は地元漁村の発展のため、水産業の支えとなり、魚食を広めることが将来の目標です。地元の養老地域で漁業実習を行った際、水産業の後

継者不足や、破棄される未利用資源の問題を痛感しました。私はこの問題を解決したいと思い、大学への進学を目指しました。

水産大学校にはC推薦制度という「後継者枠」があります。私の祖父が漁師をしており、私自身も水産業の後継者を目指すことから、この制度を利用しました。

放課後や休日は、面接や小論文の練習で忙しい日々が続きました。面接では、夏休みから取り組んできたプレゼンテーションやグループディスカッションの練習が大きな力になりました。不得意である小論文はなかなか上手く書けず、苦戦しながらも作成を繰り返す毎日でした。その度に、担当の先生には添削とアドバイスをいただき、自分の能力を高め、自信を持って試験に臨むことができました。忙しい中、毎日遅くまで指導していただいた先生方や両親には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

大学入学後は、応援して下さったみなさんのことを胸に据え、目標とする事業実現のため、有意義で充実した生活を送ります。そして将来は、祖父の跡取りとして恥じぬよう立派な人材に成長し、水産業の発展に努めていきたいと考えています。

